

<令和4年4月定例記者会見>

1 開催日時

令和4年4月6日（水）午後1時30分から午後1時45分まで

2 場所

滝沢市役所 庁議室

3 報道来庁

岩手ケーブルテレビジョン、NHK盛岡放送局、朝日新聞社、河北新報社、盛岡タイムス社、読売新聞社、岩手日報社

4 発表事項

(1) 新型コロナワクチン接種について（新型コロナウイルスワクチン接種実施本部）

まず、18歳以上の人への3回目接種についてであります。

接種間隔の前倒しにより、2回目接種の完了から6か月以上経過した人が接種できるよう、順次接種券の発送を行っております。現時点で、昨年10月に2回目接種を完了した人の分まで接種券を送付済みです。

個別接種では、現在、武田／モデルナ社ワクチンを使用しておりますが、今月最終週から、順次ファイザー社ワクチンに再度切り替える予定としております。

次に、集団接種であります。4月16日（土）・17日（日）、5月14日（土）・15日（日）に滝沢ふるさと交流館で実施いたします。集団接種で使用するワクチンは、ファイザー社ワクチンの予定です。

次に、5歳から11歳までの小児への接種状況であります。

個別接種は3月14日（月）から開始しており、1回目の接種率は10.24%、2回目の接種率は0.40%です。

また、盛岡市、滝沢市、雫石町、葛巻町及び岩手町の5市町で小児の広域集団接種を実施しております。これは、盛岡市が実施しているSGプラザ会場で、盛岡市以外の市町の小児を受け入れる方法で実施するものです。4月2日（土）と4月23日（土）のセット予約、4月9日（土）と4月30日（土）のセット予約でそれぞれ実施しますが、滝沢市分の接種人数は、2セットの合計で170人です。

次に、12歳から17歳までの人への3回目接種についてであります。

今月25日から接種を開始します。令和4年1月1日現在の12歳から17歳までの人口は3,357人であり、このうち2回目接種を完了し、3回目接種の対象となる人数は約2,400人です。対象者へは、来週中に接種券を発送する予定としております。

5 市発表案件について記者からの当日質問

記者：4月16日（土）・17日（日）、5月14日（土）・15日（日）の集団接種における最大接種数は何回分、何人分を予定していますか。

健康推進課長：まず、4月16日（土）・17日（日）の分ですが、枠としては720の枠を準備しております。5月も同様になると思いますが、はっきり確定しておりません。4月16日（土）・17日（日）もマックスではもっとできるのですが、予約の入りが悪かったので、数を調整した部分もありまして、4月16日（土）・17日（日）については、720で設定しております。

記者：5月については未定でしょうか。

健康推進課長：はい。そうです。

記者：18歳以上への3回目接種について、10月までに2回目接種を完了した人の分まで接種券を送付済みとありますが、どのくらいの規模でしょうか。

健康推進課長：約7,800人の方に3月14日に発送しております。11月の方は、4月の中旬に発送の予定になっております。

記者：総人口5万5千人のうち、約7,800人が10月までに2回接種したということでしょうか。

健康推進課長：5月に接種完了した方、6月に接種した方ということで随時発送しております。10月に接種した方についてが、約7,800人ということになります。

記者：3回目接種の接種券がこのタイミングまでに送付されたのはだいたい何万人くらいですか。

健康推進課長：11月分が約7,100人の発送予定でしたので、実際に終わった方から7,100人を除くと人数が出ますので、後ほどきちんと数字はお伝えしたいと思います。

6 その他記者からの当日質問

記者：11月に予定されている市長選についてお伺いします。出馬の意向という話もありましたが、現時点でどうお考えかということをお教えください。

市長：現時点では、しかるべき時期に議会などに説明していきたいと考えております。3月は2回議会があったのですが、1回目の方で私に対して議会から質問がありました。その時点でははっきりまだ何も考えておらないということと、もう一つはやるべきこととして総合計画の最終年度であり、なおかつ新しい総合計画を作っていて、様々な事情から、その時点ではまだ考えておりませんと、こういう答弁をしました。こういう答弁をしておきながら、そこを無視してあっちだこっちだと発言はできず、いずれしかるべき時期に、最初に聞かれたのは議会ですので、そこを通じてお話をするのが筋なのかなと思っております。

記者：しかるべき時期というのはどういった時期なのでしょう。

市長：どういったような話が出てくるのか、私の方から話をするのか、議員さんの方から質問という格好で出てくるのか、ここのところは今後調整されると思います。時期とすれば、一番早いのは5月か6月ということになります。

記者：この夏に参院選も予定されておりますが、どういった対応をされる予定ですか。

市長：私は前回衆議院選と同じように、マイクを持ったりということはないと思います。

記者：特定の人を応援されることはないのでしょうか。

市長：私も一人の国民でそういう権利があるわけですから、そこのところはその時期になったら考えます。

記者：しかるべき時期にご表明ということは、現時点で市長選の出馬の意向自体は固めているということなのか、それも含めて迷っているということでしょうか。

市長：今日の新聞に挙がりました。あれは取材の成果だと思ってはおりますが、それに対するコメントはありません。先ほど申し上げましたとおり、しかるべき時期に、3月の経緯から言って、そこで回答していくのが一般的ではないだろうかと思っています。

記者：出馬しないというところは明言するわけではないと思っていいですか。

市長：それも含めて、特にコメントはありません。